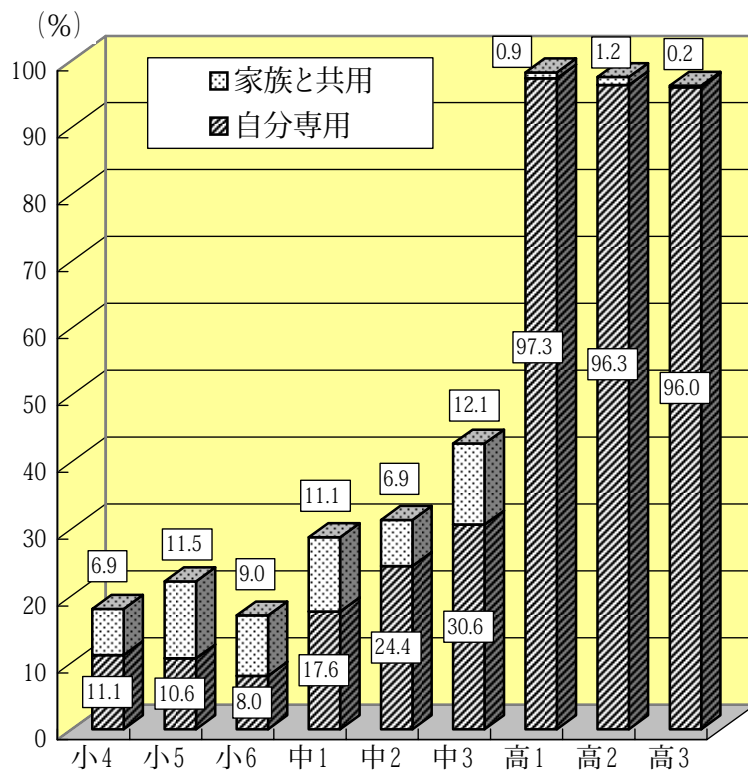


「携帯電話についてのアンケート結果」について

教学指導課心の支援室

- 調査の目的 児童生徒の携帯電話の利用の実態を把握し、指導の参考に資するため
- 調査対象及び抽出校 小学校8校 (656名)、中学校10校 (916名)、高等学校12校 (1,282名)
計30校 (2,854名)
小学校 (4・5・6年生) 中学校・高等学校 (全学年)
※ 小学4年生は、今回より調査対象に加えた。
- 調査時期 平成20年 10月

1 携帯電話の所持



○「自分専用」の携帯電話を持つ者の割合は、小学6年生から中学1年生で約2倍、中学3年生から高校1年生で約3倍に増える。

○「家族と共用」で使用している者は、高校生になると減少する。

○16、18年度調査と比較すると、小学生、中学生、高校生いずれも所有率に大きな変化はない。

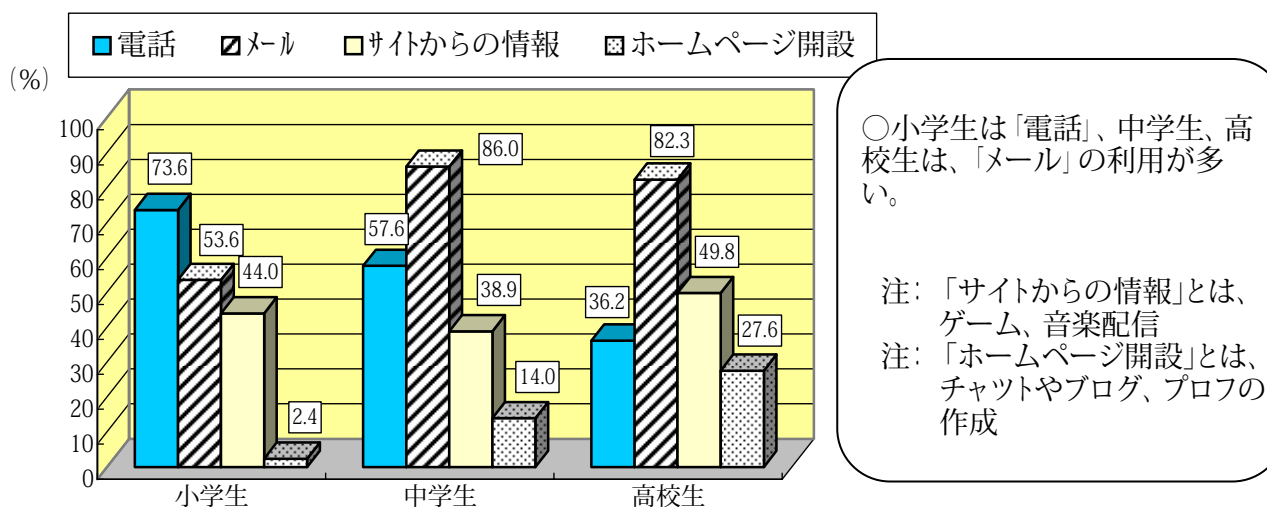
		(単位: %)								
平成20年度 の所持率	自分専用携帯を所有	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
	家族と共用	11.1	10.6	8.0	17.6	24.4	30.6	97.3	96.3	96.0
	計	6.9	11.5	9.0	11.1	6.9	12.1	0.9	1.2	0.2
平成18年度の所持率		18.0	22.1	17.0	28.7	31.3	42.7	98.2	97.5	96.2
平成16年度の所持率		16.4	20.4	24.4	33.5	42.0	97.1	97.6	98.0	
		20.8			41.0			96.6		

(参考)

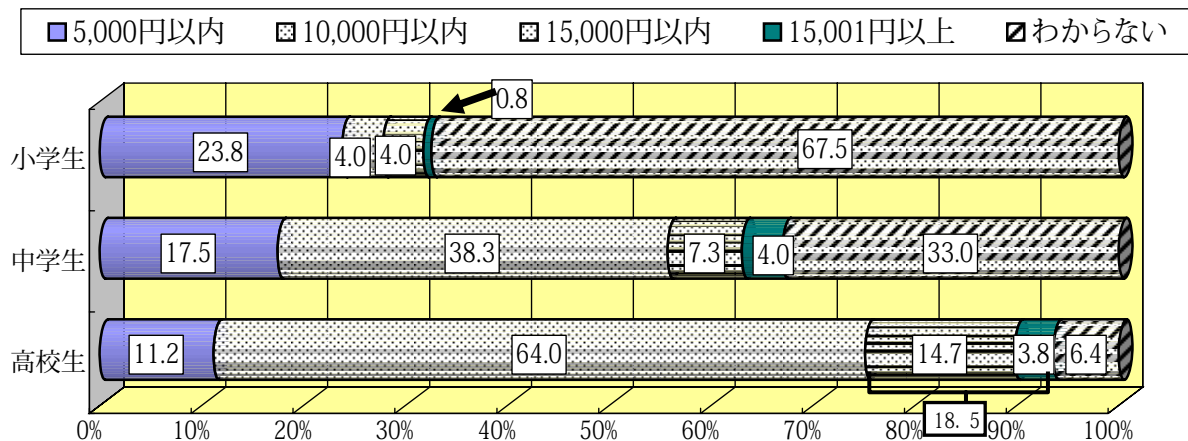
(単位: %)

平成20年度 全国学力調査生活実態より			小学6年生	中学3年生
	長野県		19.1	41.9
	全国		31.6	61.9

2 よく使用する機能(複数回答)

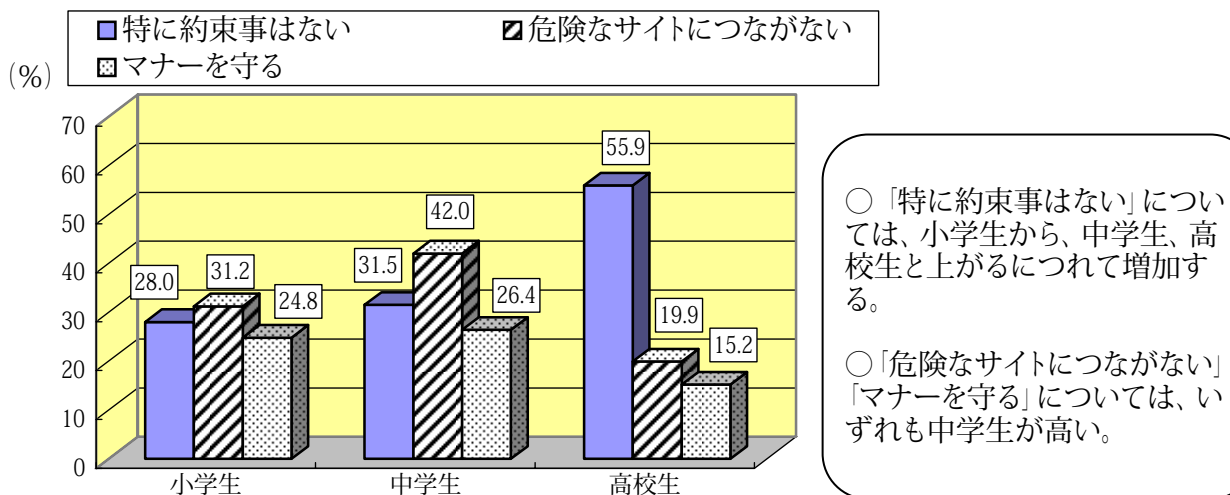


3 1ヶ月あたりの使用料金

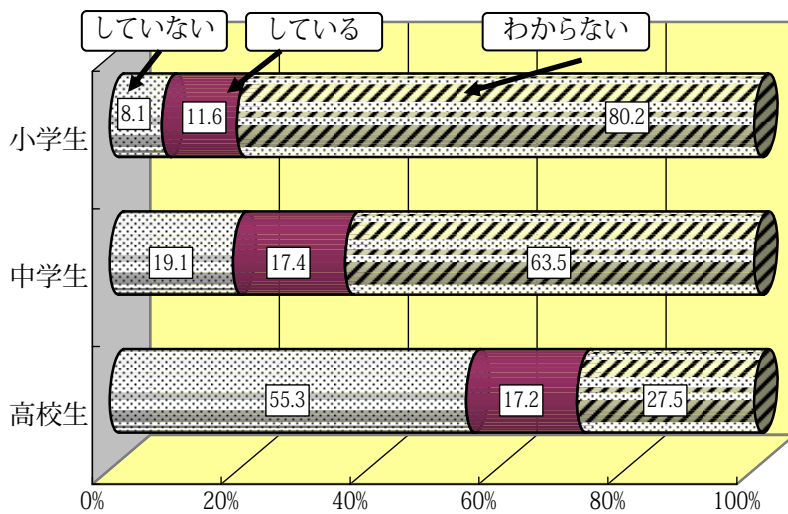


- 小学生は、「5,000円以内」、中学生、高校生は「10,000円以内」が多い。
- 金額が「わからない」者が、小学生で2/3、中学生で1/3程度見られる。
- 高校生は、「10,000円」を超える生徒が18.5%になる。

4 保護者とのケータイ使用にあたっての約束事(複数回答)



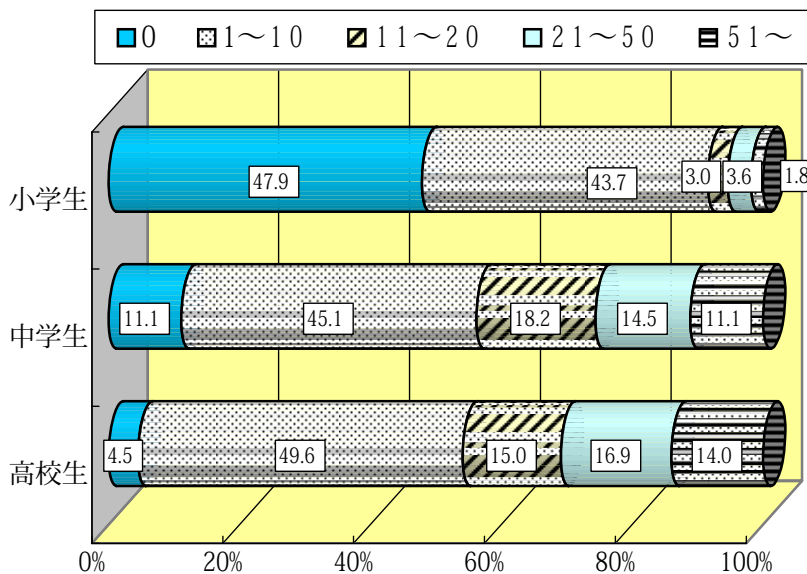
5 フィルタリングの機能の使用



○「フィルタリング」を利用しているは、小学生、中学生、高校生いずれも20%を下回る。

○「わからない」が小学生、中学生では多い。

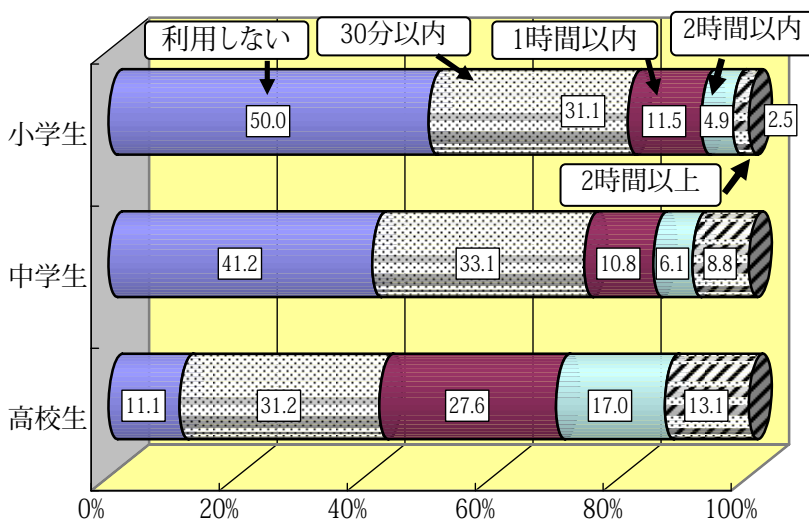
6 1日のメールの利用(送信回数)



○メールを「していない」割合は小学生が多く、中学生、高校生と順に少なくなっている。

○「51通以上」は中学生で11.1% 高校生では14.0%になる。

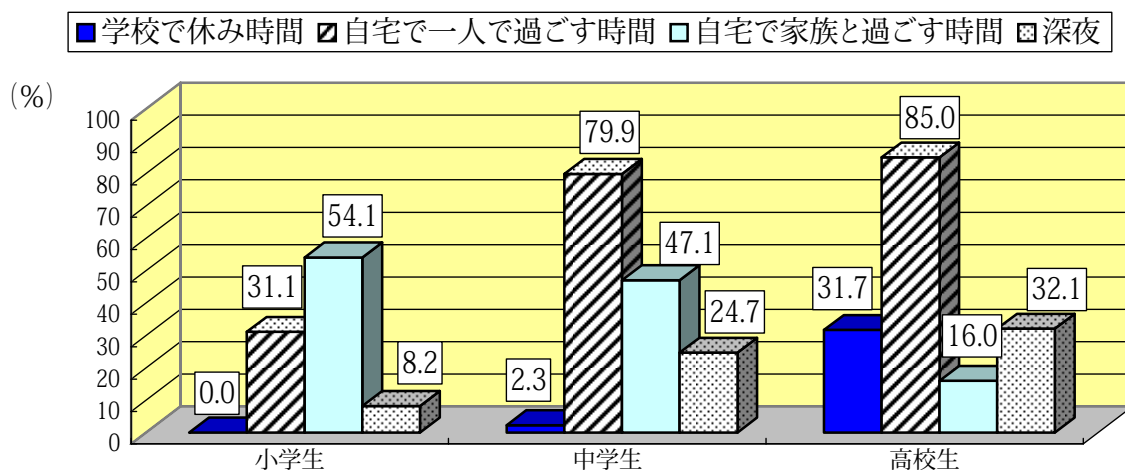
7 携帯でのインターネットの利用時間



○「利用しない」が小学生は半数あり、中学生は約40%である。

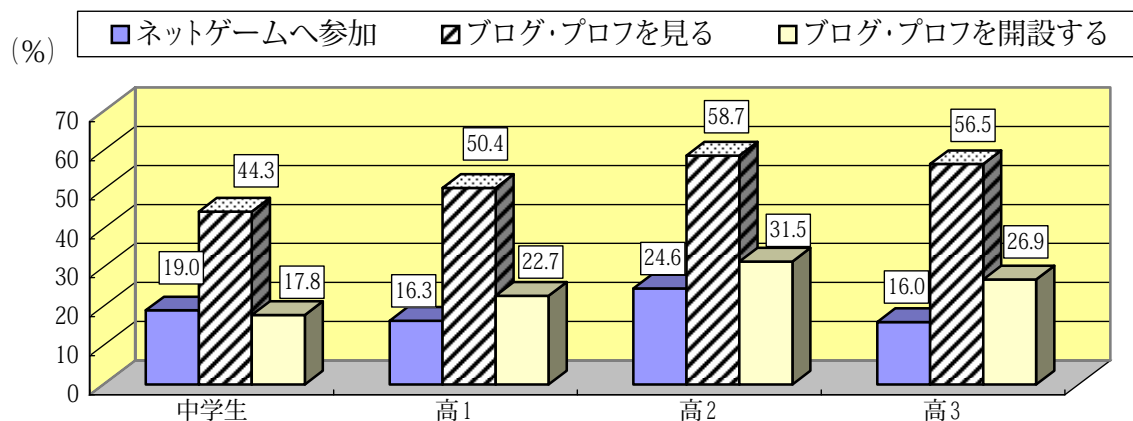
○「30分以内」は小学生から高校生までいずれの段階でも30%程度である。

8 携帯でインターネットを利用する主な時間帯 (複数回答)



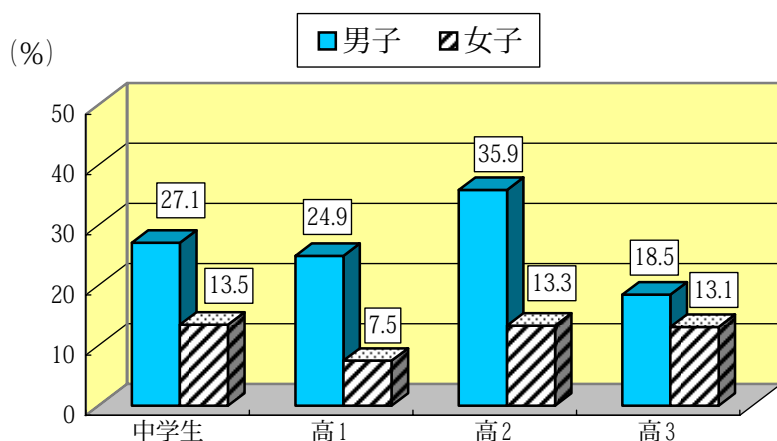
- 小学生は「自宅で家族と過ごす時間」が最も多い。
- 中学生、高校生は、「自宅で一人で過ごす時間」が最も多い。
- 中学生で約4人に1人、高校生で約3人に1人は「深夜」に使用している。

9 携帯サイトの利用 (複数回答)



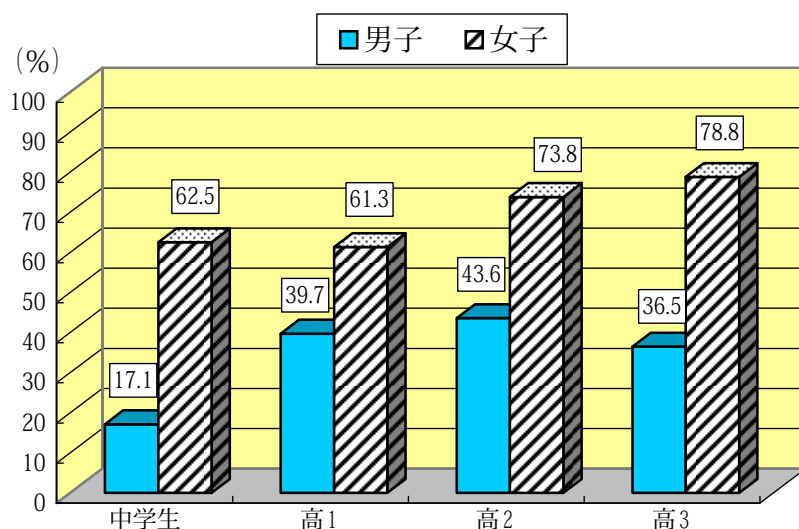
- どの年代においても「ブログ・プロフを見る」は多い。
- 「ネットゲームへ参加」、「ブログ・プロフを見る」、「ブログ・プロフを開設する」いずれも、高校2年生の時に最も多い。

9-a ネットゲームへの参加 [中学生以上、男女別]



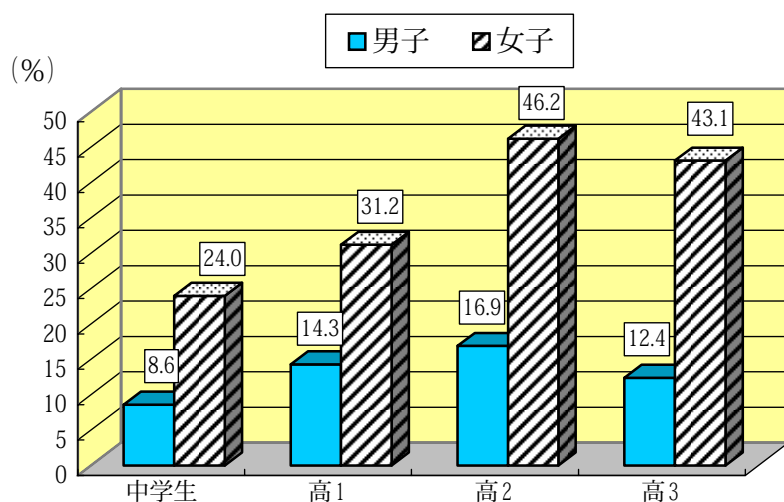
- 男子はどの年代においても女子を上回っている。

9-b ブログ・プロフを見る [中学生以上、男女別]



○女子はどの年代においても、男子を上回っている。

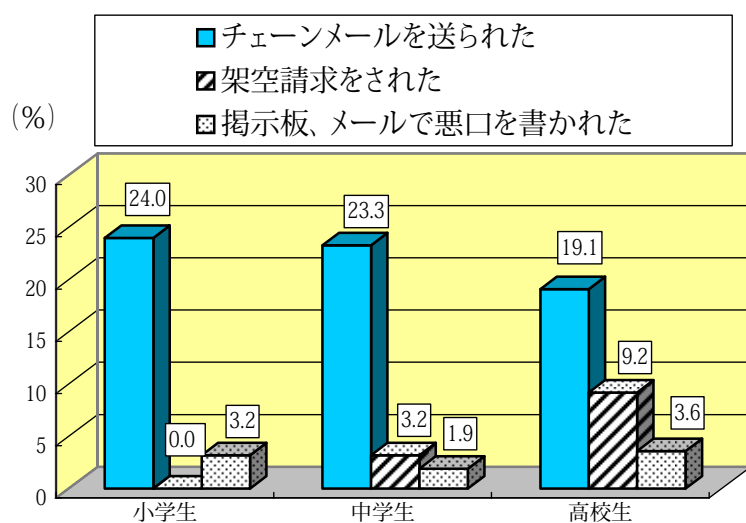
9-c ブログ・プロフの開設 [中学生以上、男女別]



○女子はどの年代においても、男子を上回っている。

○男女ともに高校2年生の時の割合が多い。

10 メール・携帯での嫌な思い (複数回答)



○「チェーンメールを送られた」で嫌な思いをした者が、いずれの校種においても多い。

○中学生、高校生となるにつれて、「架空請求をされた」が増加する。